

本書はAI制作の架空サンプルです。実在企業の評価・実際の学生調査結果ではありません。

WORK SAMPLE 01 / REPORT

「伝えたい」と「伝わる」の ギャップを、次の改善へ。

Real View の納品レポートは、企業が伝えなかったことと、学生の初見反応の違いを整理し、改善の優先順位を明らかにするためのものです。

モデル企業
製造業A社（架空）
滋賀県内を想定したサンプル／企業実在なし

確認対象の見本
採用サイト・求人情報
実案件では学生約10名の初見反応を確認

01 受け取れる内容

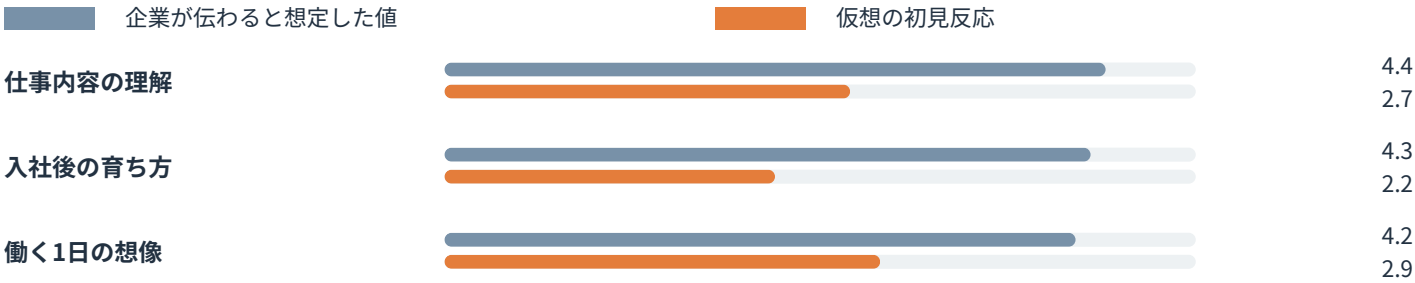
01
伝わり方の比較
企業の想定と初見反応を並べて可視化。

02
改善優先順位
伝わらなかった理由と先に直す点。

03
次に確かめる問い
改善後の確認項目まで整理。

02 伝わり方の比較イメージ

以下の点数は説明用にAIが作成した仮想値。実測値ではありません。5点満点・イメージ。



仮想値は評価の見せ方を説明するためのもので、実案件での結果・改善効果を示すものではありません。

架空ケース・仮想数値／実際の学生コメントではありません。

WORK SAMPLE 01 / NEXT ACTION

GAPの原因と、直す順番。

結果を「評価」で終わらず、採用サイト・説明資料をどう改善するかにつなげるレポート形式。

企業が伝えたかったこと	仮想の初見で見た課題	改善の方向
幅広い製造工程を経験できる	仕事内容が「製造スタッフ」とだけ書かれていて想像しづらい	担当工程・最初に任せる作業・一日の流れを説明する
未経験から学べる	いつ、誰が、何を教えるのかが書かれていない	入社1週間・3か月の育成イメージを掲載する
協力しながら働ける	社員の役割分担と相談先がわからない	相談できる場面を具体的に示す

改善優先順位 TOP 3（仮想例）

1

仕事を具体化

「何をする仕事か」を写真と短文で補足。

2

育成が見える化

初日・1か月・3か月の目安を整理。

3

判断材料を増やす

勤務の流れや必要な準備を明示。

変えなくていい部分（仮想例）

事業への思い、製品への誇り、社員が大切にしている仕事観。こうした価値は残し、読み手が理解するための具体例を追加する。

NEXT QUESTION

仕事の一日と育成の流れを補足したあと、学生は「自分にも働けそう」と判断できるだろうか？

企業に返すもの

初見反応の整理／企業想定との差／改善優先順位／次に確認する問い。

料金の扱い

Real View通常20万円、比較付き30万円（税別）。モデル価格は別条件。制作・改修は別途相談。

公開用の見本：実案件では、学生の実際の反応と企業の事前回答を基に作成します。ここに書かれた所見や数値はすべて仮想例です。